

いけしま ふくまんじ

池島・福万寺遺跡 現地説明会資料

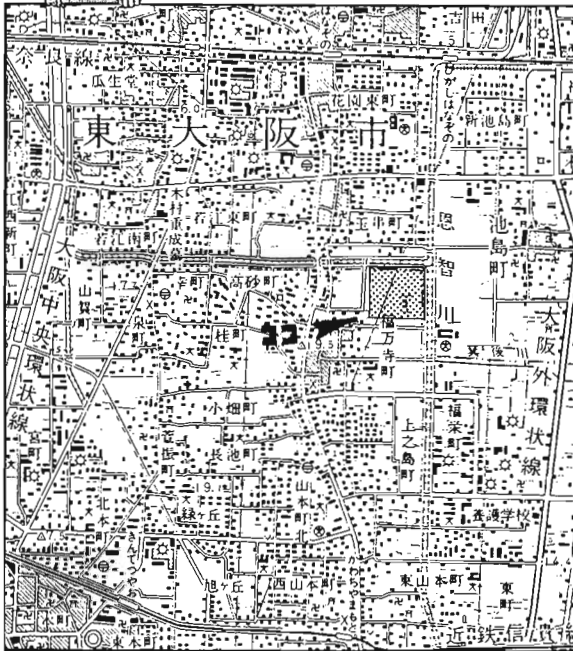
大阪府教育委員会
(財)大阪文化財センター

1989年12月16日

題字は三宮昌弘技師



なんで掘ってるの？



このへんは、昔から...
すぐに川があふれ、田畑が
水につかってました...

そこで、ここに大きな大きな
池を作って、あふれた水を
ためることにしました...

ところが、ここは**遺跡**
ですよん.....



三宮と書いてさんぐう いいます。

ワッッ～ また洪水だぁ～！



原始



古代



中世

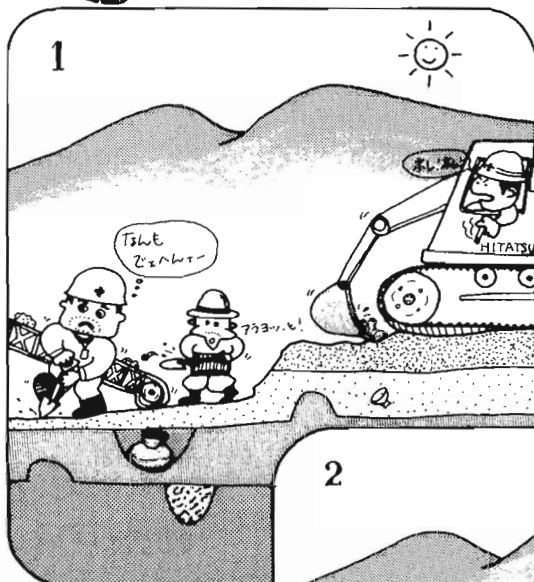
Hiro E



どうして掘るの？



技師のホンマとす。
テトリスが大好き！
オマンちゃんと呼んで
ください！



1
現代のゴミまじりの土は、
機械の力で...
遺物の出る土になったら、
人の力で掘りますねん...



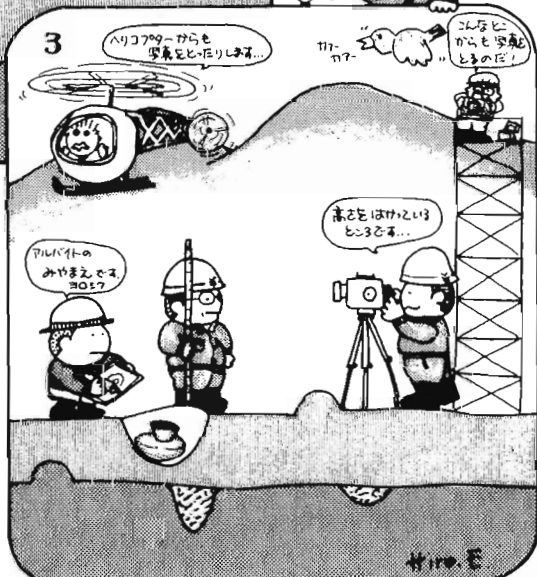
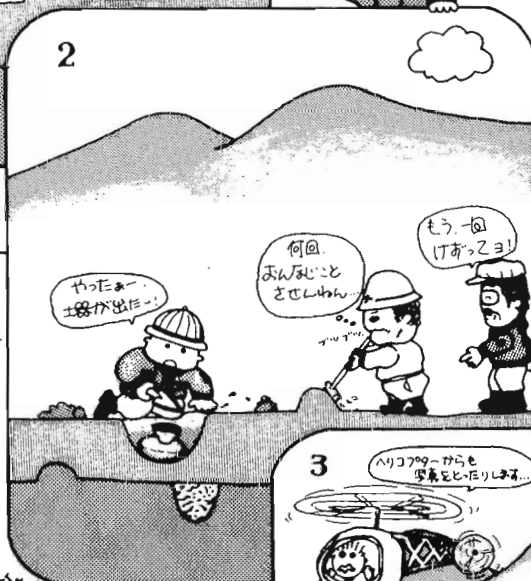
3
後々の人にも、
ここに何があった
のかがわかって
もらえるように写真
を撮ったり、出て
きた場所や様子
などを図面にか
いたりしますねん。

2
土は、つくり方によつて、かたさや色
などが違います。
それをたよりに
1枚ずつ土をはいて
ゆきます。

そうすると、昔の人が
掘った穴や溝のあとがあります。
こういった穴や溝はまわりとは違う
土でうまっているので見つかるの
です。それをていねいに掘ると土器
などが出てきますねん。

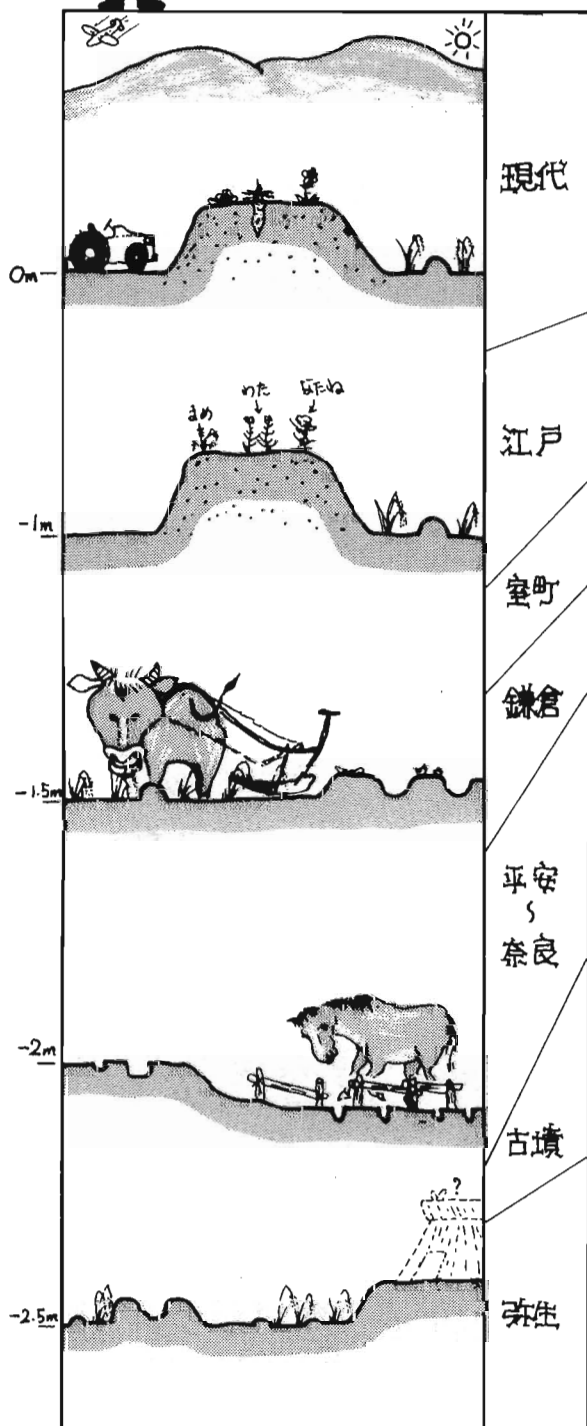


飲みあさると、次の日 二んは顔になります。





何がわかったの？



洪水でうまった砂を
あつめて畑をつくりま
す。畑の作物は時代
によって違うようです。

そのほかの低い所は
たんぼにしています。



たんぼや畑が一面に
広がっていたようです。

畑のうねやあぜなどが
見つかっていますが、土地の割り方
は現在と同じ
ようです。



溝や穴などが見つか
っています。一列に並ぶ
穴は柵のあとかも
しれません。ひょと
んと^{まきば}牧場かも……



今、調査している所で
す。大きなあぜが走り、
その間に用水路が通
っています。そのほかは、
小さなあぜで区切られ
ています。
集落はどこかな？



現代から中世

両はしの人^{中央の}が立っている
ところが田んぼ。
高まりが島畑(しまばた)
です。

松山です... マッチと呼んで下さい!
体が大きいので
すぐ目立ちます...



高いところが畑なので「島畑」、あるいは
低いところが田んぼ^{はんぼ}なので「半田^{はんで}」とも呼
ばれます。

島畑では、綿やタネ
などをつくっていました。
これが有名な河内
木綿のやりかたです。

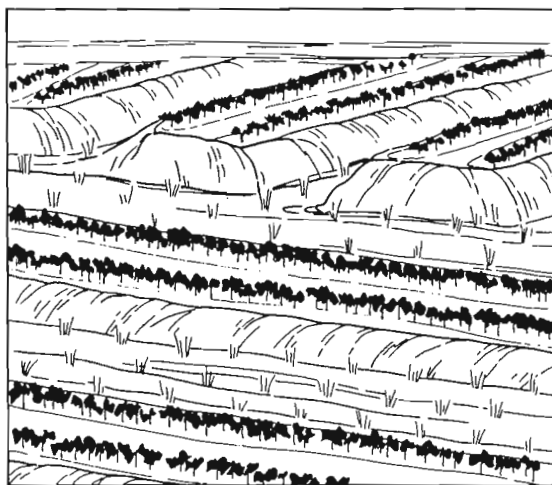
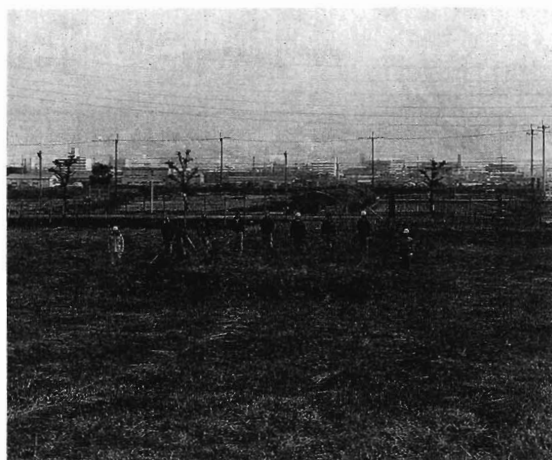


今も昔もおんなじ
ところがポイント
ですねん...

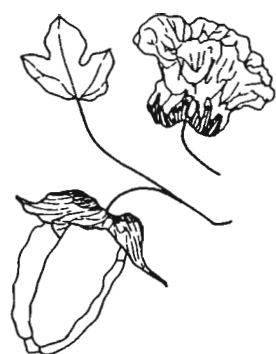
上-現在の島畑

中-江戸時代の絵図に描かれた島畑

下-掘り出された中世の島畑



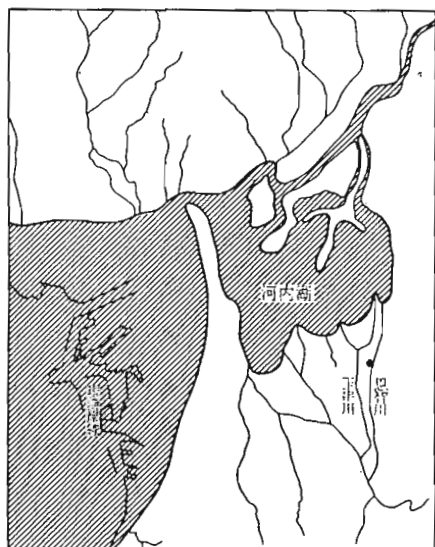
空から見ると、恩智川の西側に
 正方形の田んぼがきれいに並んで
 いるのがよくわかります...
 これが条里なのだ... ハイ!



綿の花と実



弥生時代



これは 弥生時代の 終りころの
大阪じゃ。海がずっと 陸地の
方へ はいりこんで、しかも「河内湖」
というのがあったんじゃ。



梶山 市原 先生の研究成果です...

弥生人の 米づくり

このころの 農作業
春先には

田ならし

打ちおこし



掘り出された水田（足あともみえる）

田植えも
あったが
こいほ
もみまぎの
ようす...



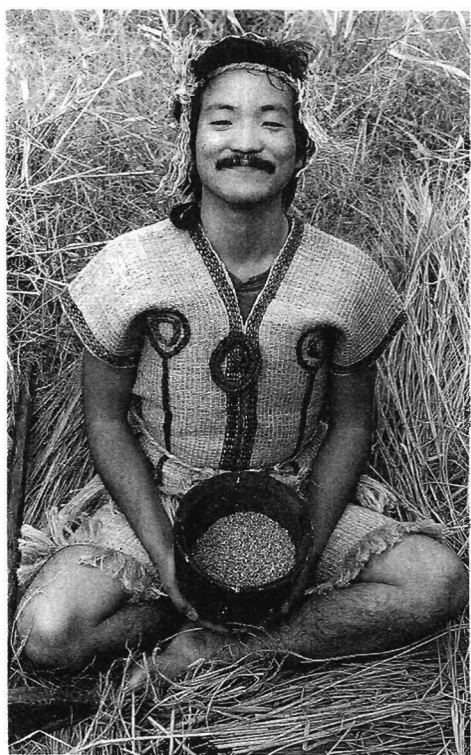
◀ 秋の収穫
石臼で
つかって
つみとります...



モデルは
左の 怒る3姉妹 → 三宮技師
右の おびえる3姉妹 → 清水技師
中央 横目の3姉妹 → バットの倉前

収穫のよろこび ▶
貴重な食料
また、来年の種
もみにもとて
おく...





▲ 作業員のおじさん達 オー!

◀ ワシ、弥生人のつもりですわん...

▼ 今年は豊作だ!

